

地域振興推進費事業総括表

整理番号	課題区分	事業名	事業概要	事業期間	備考
1	B	コミュニティ放送を活用した地域情報の発信事業	地域住民に伝えたい、地域住民が知りたい諏訪管内の現地機関等の施策・取組等の情報や災害・感染症等、地域住民の暮らしに影響の大きい事案の情報についてコミュニティ放送等によりタイムリーに発信する。	R5.5～R6.3	
2	C	諏訪湖創生ビジョン課題解決に向けたワーキンググループ設置	諏訪湖創生ビジョンの取組を推進するため生態系、浚渫等の課題解決のためのワーキンググループを設置し、課題解決に向けた検討会、勉強会を開催する。	R5.8～R6.3	
3	C	浮き漁礁設置に係る生物調査	県民参加型予算で設置予定の浮き漁礁について、設置前後の生息数について調査する。	R5.5～R6.3	
4	C	諏訪湖周自転車利用環境整備ガイドラインの広報	諏訪湖周自転車利用環境整備ガイドラインについて、パンフレット、チラシ等を作成し、①地域住民向け(市町の広報紙や情報誌に掲載。中学・高校の交通安全教室に併せて配付)、②来街者向け(レンタサイクル事業者や観光事業者に配付)と対象に応じた広報を行う。	R5.6～R6.3	
5	C	ヒシ除去量の増加に向けた新たな仕組みの構築事業	次期総合5か年計画及び施策の見直し後の諏訪湖創生ビジョンにおいてヒシによる貧酸素、景観阻害等の課題の解消のため、ヒシ除去量の増加に向けた新たな仕組みづくりを検討する。	R5.6～R6.2	
6	C	水辺の昆虫モニタリングと保全に向けた啓発事業	流入河川におけるメガネサナエの成虫調査及び諏訪湖湖岸の羽化殻調査を継続し生息状況を把握しつつ、令和4年度に作成したリーフレット等を活用し、学校での学習、環境イベント等での周知啓発に活用し、諏訪湖及び流入河川の環境保全を図る。	R5.6～R6.2	
7	C	縄文トレイルサイクリングコース開発事業	サイクリングを好む一方、縄文への関心が薄い層に博物館等を訪問してもらうことを目的に、縄文をテーマにしたサイクリングコースをハケ岳方面でモデル的に開発する。	R5.6～R6.3	
8	C	体験型アクティビティの情報発信	「ジャパンエコトラックハケ岳・諏訪湖デジタルスタンプラリー」を開催。令和4年度に諏訪地方観光連盟がジャパンエコトラック(JET)に登録した12コースを基に、公式アプリを使用したデジタルスタンプラリーを実施し、ハケ岳・諏訪湖JETキャンペーンを展開する。同時に、SNS等を活用して本キャンペーンの情報発信を行い、イベントへの参加促進や、おすすめの立ち寄りスポット等の投稿を行うことで飲食店、土産物屋等への誘客を図る。	R5.6～R5.11	

9	A	おらほの子どもは、おらほで育てる～地域で育つ、里親養育推進・応援事業	(1) 諏訪地域における子どもを育む社会のあり方検討会の開催 諏訪地域における子育てを取り巻く課題を把握するとともに、市町村の規模に関わらず安心して子育てができる支援体制のあり方について検討する。 (2) 里親制度紹介パネル展及び養育里親制度相談会の開催 昨年度作成した里親制度紹介パネルを活用し、諏訪地域市町村公共施設や商業施設、地域企業を巡回する展示を行うことで里親制度の周知を図る。また、パネル展示にあわせて養育里親による体験談説明を主とした里親制度相談会を開催し、養育里親希望者の新規掘り起こしを図る。	R5.6～R6.3	
10	C	農産物関連イベント・直売所巡りスタンプラリー	新型コロナウイルスなどにより、諏訪地域の農畜産物の消費量が減っているため、その魅力を発信し、地産地消をより一層進めるため、管内の農畜産物関連イベントのほか、農産物直売所等の施設を巡るスタンプラリーを実施する。	R5.8～R5.11	
11	C	日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」のブランド力強化事業	諏訪地域にある日本遺産について、地域内の構成団体と連携し、「面」としての周遊を促す仕組みを検討・構築する。	R5.6～R6.3	
12	C	信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業	空港を利用して来県する旅行者に対して令和3年7月から配布している観光パスポートの有効期限が令和6年3月31日までのため、対象エリアの見直しや店舗追加等のアップデートをして増刷する。また、令和6年度からは、店舗情報等は冊子を利用し、特典を受ける手順のみ電子化(QRコード読み取りなど)することで、利用者のデータを入手できるようにする。	R5.5～R6.3	
13	C	ハヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした総合的な振興策の検討・展開	ハヶ岳西麓の総合的な振興策の検討に当たり、ハヶ岳・霧ヶ峰の豊かな自然を活かした取組や地域活動、人々の交流の活性化に資するアイデアを取り入れるため、地域づくり団体等と意見交換を行うタウンミーティングを実施する。	R5.9～R6.3	
14	C	令和5年度諏訪湖カワアイサ対策生態調査事業	カワアイサについては、学術的な調査が行われておらず、行動、食性及び捕食量などの詳しい生態が不明確であり、効果的な被害対策が構築できていないため、令和5年度は、諏訪湖に流入する上川等の河川における行動調査を実施する。	R5.10～R6.3	
15	C	観光客受入環境整備推進事業	「やさしい日本語講座」を開催する。「やさしい日本語」とは、外国人にもわかりやすい日本語の使い方、いくつかのルールがある。このルールはAI翻訳を使う際にも大変有効であり、やさしい日本語の講義及びワークショップで、外国人観光客への対応力を強化する。	R5.10～R6.1	
16	B	諏訪湖結氷時安全対策推進事業	ライブカメラ1台を設置(予定設置場所: 県有施設)し、映像をYouTubeでライブ配信する。映像に、結氷時立入危険の旨のテロップを日本語と英語で流し注意喚起を行う。併せて、御神渡りの画像も表示しPRを行う。	R5.12～R6.2	
17	C	ワカサギ資源に関する基礎調査	遡上前から遡上期における諏訪湖内のワカサギ資源量について調査し、産卵前の性格な資源状態を把握し、採卵事業の定置網設置場所の選定に活用する。	R5.12～R6.3	
18	C	諏訪湖創生ビジョン課題解決推進事業	諏訪湖に関する課題の一つである「生態系保全」のうち、魚介類の生息環境の修復について、他県の取組などを参考に、実施可能な修復手法やその手順に係るワーキンググループを設置し、情報共有と対策を検討する。	R5.6～R6.3	